

# 『Mind Charging』

第 167 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 12 月 2 日

## 旧約聖書の名言



### **A merry heart doeth good like a medicine.**

陽気な心というのは、まるで薬のように、身体にいい。

正智深谷高等学校は仏教の浄土宗の宗門関係学校ですので、宗教による『教え』というものを学校生活の中で身近に感じる機会があります。今回は基督教の旧約聖書から紹介します。違う宗教ということは思想も違う部分が出てくると思いますが、宗教とは人々が幸せに暮らしていく“道標”になるもののひとつであると私は考えています。

このコラムでも何度も述べていますが、この言葉の中にある『陽気な心』とは、“ポジティブである”ということだと思います。誰もがポジティブな気持ちで毎日を過ごしていきたいと思っているはずですが、“常に”というのは難しいと思います。でも、周りを見渡すと、同じような環境で過ごしているはずなのに『あの人に悩みはなさそうだな・・・』と思うような“常に陽気な人”がいます。しかし、その人には本当に悩みがなく、常にポジティブに過ごせているのでしょうか。おそらく内心では必死でこらえていることもあると思います。人それぞれの性格上、喜怒哀楽を表に出せる人とそうでない人がいて、出せない人が溜め込みすぎると危険です。そういう意味で、仲間の心の内を読み取り、理解して少しでも発散させてあげられるように接する『愛情』を常に持つことが重要だと私は考えます。ネガティブな気持ちもポジティブな気持ちも“エネルギー”として伝染します。そしてネガティブなエネルギーの方が伝染する力が強いと思います。

スポーツでも芸術でも、上手な人をお手本として真似ることから始めるように、ポジティブな人の真似から入っていけばいいと思います。仲間のわずかな変化も感じ取れるほどのコミュニケーションを取りながら、みんなで励まし合うことでポジティブなエネルギーに包まれる正智深谷高校でありたいものですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

旧約聖書(きゅうやくせいしょ)は、ユダヤ教および基督教の正典である。「旧約聖書」という呼称は旧約の成就としての『新約聖書』を持つ基督教の立場からのもので、ユダヤ教ではこれが唯一の「聖書」(タナハ)である。そのためユダヤ教では旧約聖書とは呼ばれず、単に聖書と呼ばれる。『旧約聖書』は原則としてヘブライ語で記載され、一部にアラム語で記載されている。また、イスラム教においてもその一部(モーセ五書と詩篇に相当するもので現在読まれているものとは異なる。それらはそれぞれ、アラビア語で「タウラー」「ザブール」と呼ばれる)が啓典とされている。(Wikipedia 参照)